

■立田山憩の森で見られる主な樹木



センダン ナナミノキ クスノキ ヤブツバキ イロハカエデ ヤマザクラ

■立田山憩の森で見られる主な草花



スイセン ホトケノザ ヤブコウジ スイレン オカトラノオ

■立田山憩の森で見られる主な野鳥



コグラ ジョウビタキ ヤマガラ シロハラ ツグミ

■立田山憩の森で見られる主な昆虫



チョウトンボ アサギマダラ ゲンジボタル アキアカネ オオルリハムシ

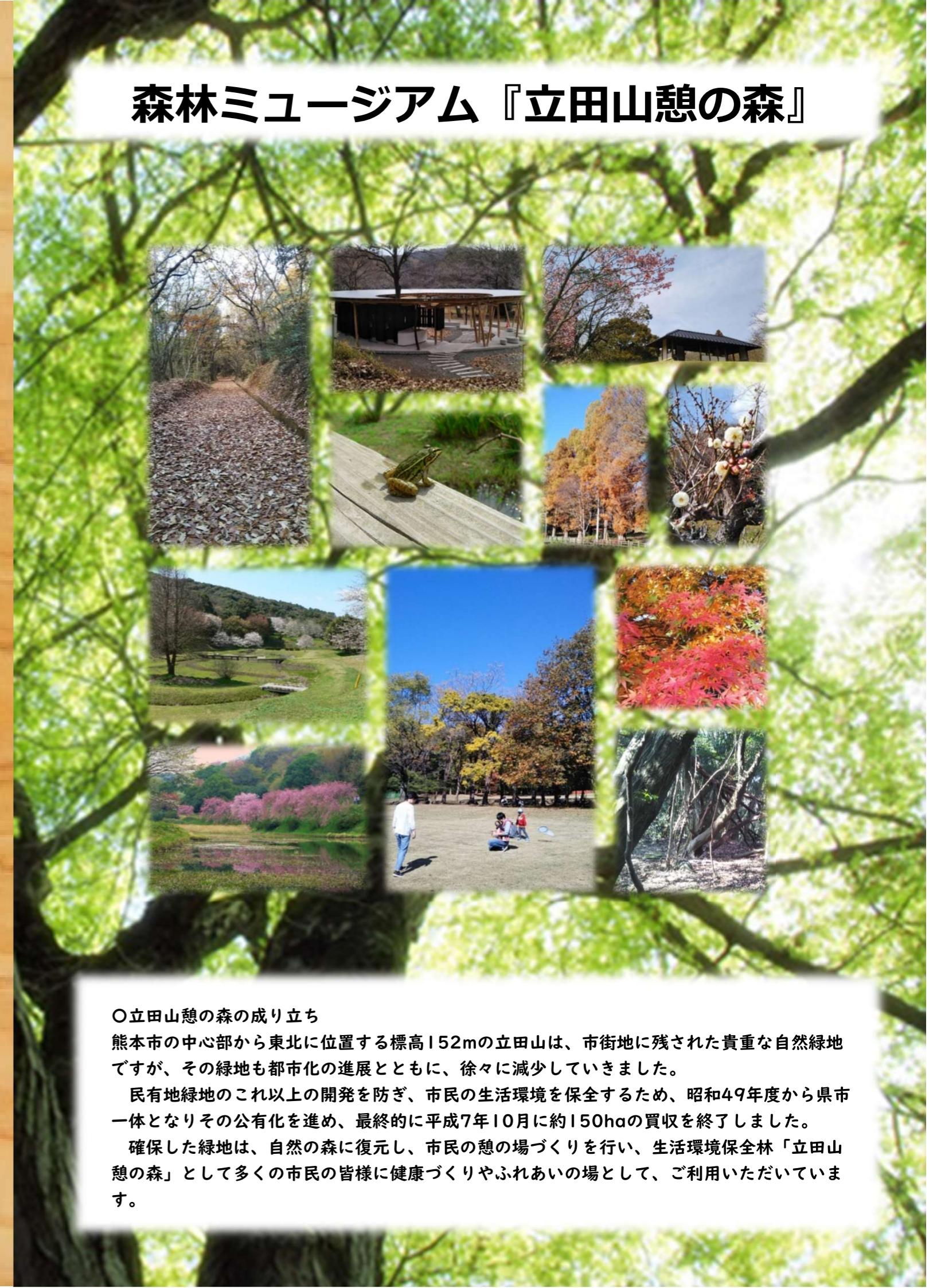
マナーを守ってみんなの森を大切に



お問い合わせ

立田山管理センター
熊本市環境共生課
熊本県森林保全課
熊本市北区龍田陳内2丁目43-23 TEL096-346-5090
熊本市中央区手取本町1-1 TEL096-328-2352
熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 TEL096-333-2451

森林ミュージアム『立田山憩の森』



○立田山憩の森の成り立ち

熊本市の中心部から東北に位置する標高152mの立田山は、市街地に残された貴重な自然緑地ですが、その緑地も都市化の進展とともに、徐々に減少していきました。

民有地緑地のこれ以上の開発を防ぎ、市民の生活環境を保全するため、昭和49年度から県市一体となりその公有化を進め、最終的に平成7年10月に約150haの買収を終了しました。

確保した緑地は、自然の森に復元し、市民の憩の場づくりを行い、生活環境保全林「立田山憩の森」として多くの市民の皆様に健康づくりやふれあいの場として、ご利用いただいている

森林ミュージアム『立田山憩の森』案内図

立田山憩の森には植物、野鳥、昆虫など多種多様な動植物が生息しており、山全体が野外博物館（森林ミュージアム）のようになっています。それぞれの観察ポイントを楽しめる4つの観察コースを設けています。



①お茶屋跡休憩所

お祭り広場南側にある細川家のお茶屋跡にある休憩所。トンボ池を見下ろしながら休憩ができます。



②お祭り広場トイレ

多機能トイレも常設しています。通路部分にあるベンチで休憩もできます。



③立田山憩の森管理センター

管理センターの職員の事務所でトイレも利用できます。



④パリアフリー歩道

車いすの方でも利用できるパリアフリー歩道です。サクラ池からお祭り広場をつなぎています。

**観察コースB(総延長1.3km)
ドングリの森とトンボ池コース**

Observation Path B
(1.3 km):
Acorn Forest and Dragonfly Pond Trail

コースには、トンボと水鳥が観察できる「トンボと水鳥の池」、クヌギ、ナラ、ナラガシワ、コナラなどのドングリが観察できる「ドングリの森」、クスノキについて解説した「クスノキの谷」があります。



**観察コースA(総延長3.2km)
野鳥と古(いにしえ)の森コース**

Observation Path A
(3.2 km):
Wild Birds and Ancient Forest Trail

コースには、田んぼ跡の水辺に集まる野鳥を観察できる「野鳥観察の森」立田山の生き立ちや森の構造が学習できる「古(いにしえ)の森」、「階層構造の森」があります。

北休憩所をすぎると紅葉が楽しめる「紅葉の森」があります。

お祭り広場をすぎると「トンボと水鳥の池」「ドングリの森」があります。



凡例	
観察コース A	■
観察コース B	■
観察コース C	■
観察コース D	■
コースポイント	●
歩道	-----
車道	—
立田山憩の森	■■■■■
森林総合研究所九州支所実験林	■■■■■
熊本県林業研究・研修センター実験林	■■■■■



⑤アスレチック

お祭り広場に10個の木製アスレチックがあります。



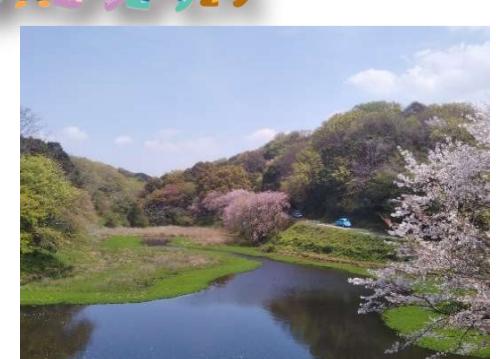
⑥むくのき展望所

山頂へ向かう少し手前の見晴らしのいいポイント。街の様子やお祭り広場のアスレチックも見えます。



⑦湿生植物苑

ハナショウブやカキツバタなど湿生に生える植物が見れます。木道を歩けばより近くで楽しめます。



⑧トンボ池

春には桜、秋には紅葉が水面に映りきれいで。たくさんのトンボが訪れます。